

医学研究実習がスタートしました

1月10日より、今年度のプライマリーコースの医学研究実習が始まりました。

今年度は、魚沼市の守門宮原地区、渋川地区、西名地区を調査地区としています。医学部3年次生の4人が、現地に滞在しながら4週間かけて各地区の65歳以上の皆様のお宅を訪問、生活環境と健康に関するアンケートを行います。その結果を分析、報告会や学会等で発表し、魚沼市やご協力いただいた住民の皆さんへもフィードバックする予定です。

現地での調査に先立ち、最初の1週間は大学にて、聴き取り調査の練習や接遇マナーの研修、電話での訪問日程の調整、調査地区の地勢についての学習、文献検索や統計学のレクチャーを受けました。11日には魚沼市へ行き、調査期間中中学生が滞在する寮の説明を受け、実際に調査に入る地区を見学しました。魚沼に本格的な雪が降り、学生たちは想像以上の積雪に圧倒されていた様子でしたが、雪に負けずに調査を進めていきます。

